

特集 | 都立看護学校7校の 新カリキュラムへの取り組み 課題に対する基本方針

東京都立看護専門学校7校は、医療の高度化・専門化に対応するため、2002(平成14)年度以降、医療安全科目の新設、教育内容の標準化、臨地実習での「診療の補助技術」の強化等に先進的に取り組んできた。そして、「看護基礎教育の充実に関する検討会報告書」を受けて、2007(平成19)年6月、「新カリキュラム検討会」を立ち上げ、検討を進めてきた。

本特集は、4つの分科会で話し合われた「科目構成」「技術教育」「統合分野」「臨地実習」の内容を紹介する。そして、次号より連載として、8つのワーキンググループ(基礎、成人、老年、小児、母性、精神、在宅、看護の統合と実践)での検討内容を順に紹介していきたい。

我々の試みを参考に、それぞれの学校で調整を進めていただければ幸いである。

林 慶子(東京都立青梅看護専門学校校長)

鹿子模様(かのこもよう)が綺麗なシカの親子

